

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目

科目コード：200003

# データ分析方法論 Data Analysis for Nursing Research

担当教員 大木 秀一、長谷川 昇、西村 真実子、小林 宏光

実務経験

開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		

Keywords 量的研究、質的研究

学習目的・目標  
学習目的：  
看護研究を行う上でのデータ処理の考え方や手法について教授する。  
学習目標：  
量的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。  
質的研究の一つの方法論である「グラウンデッド・セオリー・アプローチ」の分析の考え方と手法が理解できる。

## 授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
1～3	研究全般の手順と留意点 学術論文執筆に必要な知識、文献レビューの技術などについて参考書に沿って講義する	講義	小林
4～5	量的研究に対する考え方と統計学・統計処理の基本 既存データの活用法、量的な研究の考え方、1変数・2変数の記述統計、誤差とバイアスについて参考書に沿って講義する	講義	大木
6～8	さまざまな量的研究デザイン（実験研究） 基本的な実験操作・実験器具の取り扱い・実験結果の取り扱いとレポートの書き方	講義	長谷川
9～11	質的研究の方法論に関して オープン・コーディングⅠ 1. コーディング（プロパティとディメンションの抽出） 2. ラインバイライン分析と意味のまとめり分析	講義・演習・討論	西村
12～14	オープン・コーディングⅡ：カテゴリー化 アキシアル・コーディング	プレゼン・討論・講義・演習	西村
15	理論的サンプリング セレクトティブ・コーディングとストーリーラインの記述 質的研究の論文の書き方（カテゴリー、プロパティ、ディメンションを使って研究結果を叙述するなど） 質的研究における信頼性・妥当性	プレゼン・討論・講義・演習	西村

教科書

参考図書等

評価指標 授業への参加状況とプレゼンテーション（およびその資料）（100%）  
各教員の講義回数に応じて配点する。

関連科目	
教員から学生への メッセージ	